

# わくわく

向東小学校  
1年生だより  
平成29年3月8日  
NO. 75

## 「情けは人の為ならず」(諺)

人には親切にせよという教え

**意味** 人に情けをかけるのは、その人のためになるばかりでなく、やがては巡り巡って自分に返ってくる。

最近1年生の女の子が腕を負傷して不自由な中にあっても頑張っている子がいます。毎朝元気なあいさつで登校し、カバンの中から荷物を出しています。その姿を見た周りの子数人が、何も言わないのに自分からその場に行き、お手伝いをしていました。給食も自分で取りに行こうとしますが、難しそうな様子を見て、また周りの子が、「私が取ってくるよ。」と言って取りにいきます。「ありがとう。」「いいよ。」と言った声も聞こえます。給食に八朔が出た時も、進んで傍に行っては、剥いて渡しています。何とも微笑ましい場面です。あえて大人が先回りして指示を出すことなく、自分達で「気づき・考え・行動する」が出来ています。

その時「〇〇君は親切だね。〇〇さんは優しいね。友達って良いね。困っている時にはお互い様です。友達は助け合うものだよ。」と声をかけます。また、怪我をしている子にも「あなたは、日頃から友達に優しく親切にしているから、今度自分が困った時には、親切や優しさがいっぱい戻ってきたね。」と、周りにもよく聞こえるように声をかけています。

さらに、その子の保護者の方から「今日、〇〇(わが子)が、お友達から手紙をもらって帰ってきました。手紙には、手の事を心配した内容が書かれていて『これからもコマがんばろうね。ひもが巻けないときは巻いてあげるから言ってね。』と書いてありました。他にも色々身のまわりのことをみんなが手伝ってくれていること、〇〇が毎日聞かせてくれます。とてもありがたいです。優しいお友達にかこまれて、楽しく学校生活を送れていることを嬉しく思います。」と書かれていました。その保護者のお便りを子供達に読んでやりました。「お家の人は、我が子がみんなに大切にされていることを嬉しく思っていますよ。あたり前だよ。思いやりのある手紙を書いて渡そうと思って行動した人誰ですか?」「〇〇ちゃん。」と言うと、その子を大いに褒めました。さらに、「お家の人は、みんなそう思っています。反対に、イジメや悪口、仲間外し、からかいや、ひどい言葉を言われると、みんな嫌な思いをします。自分がされて嫌な事は、人にはしない事です。」と伝えました。先日の「いじめアンケート」にも、「イジメの無い学校」「言葉使いが良くない」等々書かれていました。向東小学校は、そのような保護者の思いや願いを大切に、「時を守り・場を清め・みんなが気持ちの良い学校」を目指して、みんなが少しずつでも「自ら気づき・考え・行動」できる学校にしていきたいと思っていますので、保護者の皆さん・地域の皆さん、これからも協力よろしく願いいたします。

子供達は、こういった諺の意味も体験を通して学ぶことができています。



国語「読書」の時間には、図書室で静かに本を読む練習もしています。川原先生にも本を読んでいただき、静かに聞いていました。

遊びの会では、1年生から6年生までの子供達がいろいろな遊びを考えて、楽しそうに遊ぶ時間がありました。



※ 体育の時間に、体操服の半袖の下から色々な模様、色の長袖シャツを着ている子がいます。まだまだ寒い日もあります。どうか長袖にさせていただき、白の長袖を着ていただけると幸いです。

※ 交通安全の緑の腕章がまだの方は、持たせてください。お願いします。